



理念	現場運営	知識	合計
／16	／20	／64	／100

所属施設： 所属部署： 受験番号： 氏名：

ケアマイスター試験を受ける前に

ケアマイスター制度には、スタッフ 1 人 1 人に「自ら考える力を身につけてほしい」という思いが込められています。そのため、問題には自由記述で解答するものが含まれています。できる限り自分の考えを書き込めるように、問題文にしっかりと目を通し、時間配分を意識して試験に取り組んでください。

《法人理念に関する問題》 16 点

1. ケアマキスの求める職員像「フェア＆オープン意識を持ち考える人」に基づいて下記の問題に答えなさい。

フェア＆オープン意識：意見は秘めることなく言う、ただし主張ばかりせず他者の意見を聞く際は相手を否定せず、建設的な話し合いができる人。

ある日上司より新入職スタッフが入ってくるのでエルダーとして担当して欲しいと指示がありました。新入職するのは下記の2名です。

- ① 特定技能外国人（女性）
- ② 他施設で10年以上の介護経験があり、リーダー職も担っていた40代の職員（男性）

※エルダー制度：ケアマキスが新人スタッフのOJTとして導入している制度。新人スタッフに対して所属長が直接指導するのではなく、年上の先輩職員が教育係（エルダー）となって実務指導に加えて職場生活上の相談役も担う。

(1) ①②のスタッフが入職してくるにあたり、あなたは事前にどのような意識をもってスタッフを迎える必要がありますか。フェア＆オープン意識に沿って1つずつ答えなさい。（配点2×2）

	あなたが①②のスタッフと関わる際、事前にもっておくべき意識
① 特定技能外国人	
② 他社で介護経験の長い中途社員	

(2) あなたが①②2人のスタッフのエルダー担当となり、数日が過ぎました。ある日あなたは担当として面談を行い、①②のスタッフより下記の話聞き取りました。

- ① 特定技能外国人 「他のスタッフも優しく接してくれているが、日本語が難しくて教えてもらっても分からないことが多い」
- ② 他社で介護経験の長い中途社員 「業務の流れは何となく理解できている。ただ若いスタッフが多くてなかなかスタッフの輪に入りにくい」

この話を受け、あなたはどのような対策を行いますか。具体的に2つ答えなさい。（配点2×2）

① 特定技能外国人	
② 他社で介護経験の長い中途社員	

2. ケアマキスの求める職員像「質の高いケアをめざし、自らの成長を目指す人」に基づいて下記の問題に答えなさい。

当法人では 2014 年に介護技術認定制度として「ケアマイスター制度」を導入し、介護現場で働くケアスタッフの「介護技術と知識の向上」を目的としています。ケアマイスター試験を実施することで、個人のスキルアップだけでなく、会社全体の企業力アップにつなげています。この制度を継続するためには、スタッフ 1 人 1 人がケアマイスター制度の意義を深く理解することが大切です。

(1) ケアマイスター制度を通じて、法人が従業員に対して期待する教育効果を2つ答えなさい。（配点2×2）



(2)初めてブロンズ試験を受験するパートスタッフから「なぜ受けないといけないのか。介護の仕事はできているので、受験する必要がないと思います」と話がありました。
あなたはブロンズ試験を合格した者として、試験を受けたことでどのようなメリットがあったか。客観的な視点にたって伝えられる内容を答えなさい。

(配点 2×2)

《現場運営管理問題》 20 点

1. 下記事例をもとに問題に答えなさい。

【事例】

真木州 A 子様 70 歳 介護度 4 特別養護老人ホームに入居中。

- ・食事：自力摂取（普通食・水分も普通）総義歯
- ・認知：認知症高齢者の日常生活自立度Ⅳ 質問に対して受け答えは難しい。
- ・移動：車椅子全介助
- ・疾患：アルツハイマー型認知症・便秘症・
- ・その他：よく面会に来ていた息子が入院し最近面会に来なくなった。

真木州 A 子様は特養に入居し 3 年が経ちます。もともと食べることが好きで昔は食べ歩きを趣味にしていたとの事。しかし最近食事量が少なくなっており、月の平均でも 5 割前後で体重も-3kg となっています。また食事中に咽ることも増えてきており、何らかの対策が必要です。

- (1) あなたは真木州 A 子様の担当をしています。真木州 A 子様が採血を行った結果アルブミンの値が 3.5g/dl で低栄養の状況で、最近食事量も低下してきているため、次回のカンファレンスで真木州様の食事に対する検討を行うことになりました。そこで担当であるあなたは課題の分析を行うことにしました。上記に事例をもとに課題と思われる現象を最大限推測し、それに対する具体的な対策を下記に 2 つ答えなさい。(課題配点 1×2 対策配点 2×2 計 6)

【課題】	➡	【対策】
【課題】	➡	【対策】

- (2) カンファレンスの中で最近誤嚥性肺炎による入院やむせる方が増えてきたと話題になり、誤嚥について新しく入職してきたスタッフに対して研修を実施することになりました。あなたは誤嚥予防の研修項目にどのような内容を盛り込みますか。研修の【内容】とその内容を入れる【理由】を答えなさい。(配点 2×2)

【内容】
【理由】



2. あなたは特別養護老人ホームで働く入社 2 年目のスタッフです。来週開催される特養会議で、今月の特養の実績について話し合うことになっています。
あなたは会議に参加するにあたり、特養の実績について予習をすることにしました。下の表は今月(11 月)の特養の実績です。
下の表を参考に以下の問いに答えなさい。

	予算金額	利用床数	空床	稼働率	入所定員	平均単価
11 月末見込み(15 日現在)	¥40,950,000	2925	75	A	100	¥14,000

※月間日数は 30 日とする。

利用床数…1 ヶ月で使用された床数(ベッド)のこと。

空床…1 ヶ月に使用されなかった床数(ベッド)のこと。

稼働率…1 ヶ月に利用可能な床数(ベッド)のうち、実際に入居者が使用している割合のこと。(利用床数÷MAX 利用床数＝稼働率)

(1) MAX 利用床数(1 日も空床がなかった場合の利用床数)は() 床である。(配点 1)

(2) 表の A にあてはまる特養の今月の稼働率の見込みは() %である。※小数第一位まで (配点 1)

(3) 明日(16 日)より、1 名の入居者が体調悪化にて入院することになりました。入院の期間は 15 日です。(配点 2×2)

それに伴い、11 月の稼働率の見込みは①() %になる。

また、実績金額は②() となる。

(4) 特養の稼働率を下げる主な要因は「入院」です。入院の理由は様々ですが、ケア方法の見直し等で入院を回避できるケースもあります。

回避できる入院の原因(理由)として考えられるものあげ、回避するための対応策を答えなさい。(配点 2)

(原因)	(対応策)

(5) あなたが、実績の予習をしていると、入社 1 年目の後輩から、「入居者のケアをすることが私たちの仕事なのに、なぜ会議で実績の話し合いをするんですか？」と質問されました。会議で実績を確認しあう大切さをあなたならどのように後輩へ伝えるか答えなさい。(配点 2)

《知識問題》

1. 身体拘束について、下記の問いに答えなさい。

(1) 介護保険法では身体拘束を行うことは原則として禁止していますが、やむを得ない場合は 3 つの要件全てを満たした場合に限り認められています。
その 3 つの要件のうち、2 つ答えなさい。(配点 1×2)

--	--

(2) 下記①②のケースに対し、身体拘束をしなくても良い対策・工夫を答えなさい。(配点 2×2)

①徘徊をしないように、車いすやいす、ベッドから立ち上がれないようにベルトやひもで固定する。



②脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる。

2. 人間関係とコミュニケーションについて、適切な語句を下記の語群からアルファベットを選び、（ ）に記入しなさい。（配点 1×4）

コミュニケーションとは、人が意思、感情、情報などを（① ）することであり、複数の人が情報などを伝え合う（② ）を持っている。

言語伝達媒体とは言語のことであり、会話や電話など話して伝える手段、手紙やメールなど書いて伝える手段、手話を使って伝える手段などがある。

非言語的媒体とは、ジェスチャーや言語と言えないよううなり声やため息など非言語のことである。無意識のうちに発信される相手に対する動作、視線、表情、（③ ） 、話すりズム、声のトーンなどがある。

コミュニケーションの妨げになる環境を（④ ）という。騒音や障害、偏見などがある。

a.双方向性 b.一方向性 c.雑音 d.ラポール e.伝達 f.意思 g.整理 h.体制 i.姿勢 j.感情 K.傾聴

3.高齢者に関わる制度について、下記の問いに答えなさい。

（1）介護保険制度について、不適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。（配点 1×2）

- ①第一号被保険者は市町村に住所を有する 65 歳以上のすべての人。
- ②第二号被保険者は、40 歳以上 65 歳未満の市区町村に住所を有し、特定疾病の診断を受けたすべての人。
- ③介護保険の保険者は市町村及び都道府県である。
- ④居住している市町村以外の介護保険に入所した場合は、住所地特例により前住所地の市町村が保険者となる。
- ⑤区分支給限度額を超えて利用した場合、超えた分の介護サービス費は全額自己負担になる。

（2）介護サービスについて、特徴と一致するサービス名を答えなさい。（配点 1×4）

特 徴	サービスの種類
① 常時、介護が必要な人に生活の場を提供する。	
② 介護老人保健施設や病院などに通い、理学療法士や作業療法士などが、医学的管理に基づいたリハビリテーションを行う。	
③ 自宅に訪問し、食事や排泄の介助、家事の支援、通院の介助などを行う。	
④ 短期間で施設に宿泊し、介護や生活支援などを行う。	

（3）個人の権利を守る制度について、下記の語句からアルファベットを選び、（ ）に記入しなさい。（配点 1×3）

（① ）後見制度は、認知症、知的障害、精神障害などですでに判断能力が不十分な状態になっている方が対象。対象者の判断能力に応じて、補助、（② ） 、後見のいずれかの制度を利用する。

消費者が訪問販売などで申し込みや契約をした場合でも、決められた期間内なら申し込みや契約の取り消しができる制度を（③ ）という。

a 支援 b 補佐 c 保佐 d 予防 e 消費者基本法 f スクエアオフ g クーリングオフ h 任意 i 法定

4. 排便について、以下の問いに答えなさい。

（1）次の記述が排便の仕組みについて正しい文章になるように、適切な語句を下記の語群からアルファベットを選び、（ ）に記入しなさい。（配点 1×4）

S 状結腸

↓ 便の重みや蠕動運動により便が移動する

（① ）：蓄便され、直腸が刺激されると脳が便意を感じる

↓

内肛門括約筋：（② ）神経の働きにより緩められる

↓

トイレに入る：排便の準備を整える

↓

外肛門括約筋：（③ ）神経の働きにより緩められる

↓

排便：標準的は排便回数は 1 日に（④ ）から 3 日に 1 回

a.下行結腸 b.胃結腸反射 c.腸腺 d.虫唾
e.副交感 f.交感 g.体性 h.自律
i.中枢 j.十二指腸 k.直腸 l.ぜんどう運動
m.予防 n.1～3 o.3～5



(2) 排便が順調に行われず便秘になることで、どんなリスクが生じるか答えなさい。(配点 2)

--

(3) 便秘にならないようにするケア方法を答えなさい。(配点 2)

--

5. 老年期の説明に該当する用語について、適切なものを下記の語群から選んで答えなさい。(配点 1×4)

①加齢による心身の変化に対し、本人が主観的に「高齢者になったな」と感じる事。	
②老化にうまく適応した幸せな老年期の生き方のこと。「長寿であること」「生活の質が高いこと」「社会貢献をしていること」などで構成される。	
③バトラーが提唱し、「年を取っている理由で老人たちを一つの型にはめ差別すること」と定義されるもの。	
④定年による社会的役割の喪失、子どもの自立、配偶者や友人との死別など、老年期は孤独感や不安感が生じる時期。	

a アクティブエイジング b プロダクティブエイジング c サクセスフルエイジング d 老性自覚 e 生理的老化 f 加齢 g エピソード体験 h 不安体験 i 喪失体験 j プライミング k エピソード l エイジズム m プログラム

6. 高血圧症について、() 内に適切な語句を記入しなさい。(配点 1×4)

- ①血圧とは、() を流れている血液が、血管の壁を内側から押す力のこと
- ②日本高血圧学会のガイドラインで、高血圧は収縮期血圧 () mmHg 以上、または拡張期血圧 90mmHg 以上と定義されている。
- ③高血圧の状態が続くと、() が分厚く硬くなる。
- ④収縮期血圧と拡張期血圧の差が大きくなると、心臓が () を起こし、細い血管の多い脳、腎臓、目などの血管が出血を起こす。

7. 食事について、以下の問いに答えなさい。

【問題】 特養入所中の A 様は、最近食べ物や飲み物でむせてしまうことが増えてきました。居室担当のあなたは、誤嚥性肺炎の対策をするよう、ユニットリーダーから指示されました。

(1) 誤嚥に注意が必要な食べ物は何か、その特徴はどんなものか、注意が必要な理由は何か答えなさい。(配点 2)

(例) もち・だんご	粘りが強い	誤嚥してしまうと吐き出しにくく、窒息の危険性が高い

(2) 食事介助時（食事介助中やその前後）にできる誤嚥防止の対策を答えなさい。(配点 2)

例：食事介助は健側から行う

--

(3) 誤嚥が疑われる状態にはどのようなものがあるか答えなさい。(配点 2)

例：食事中によくむせる

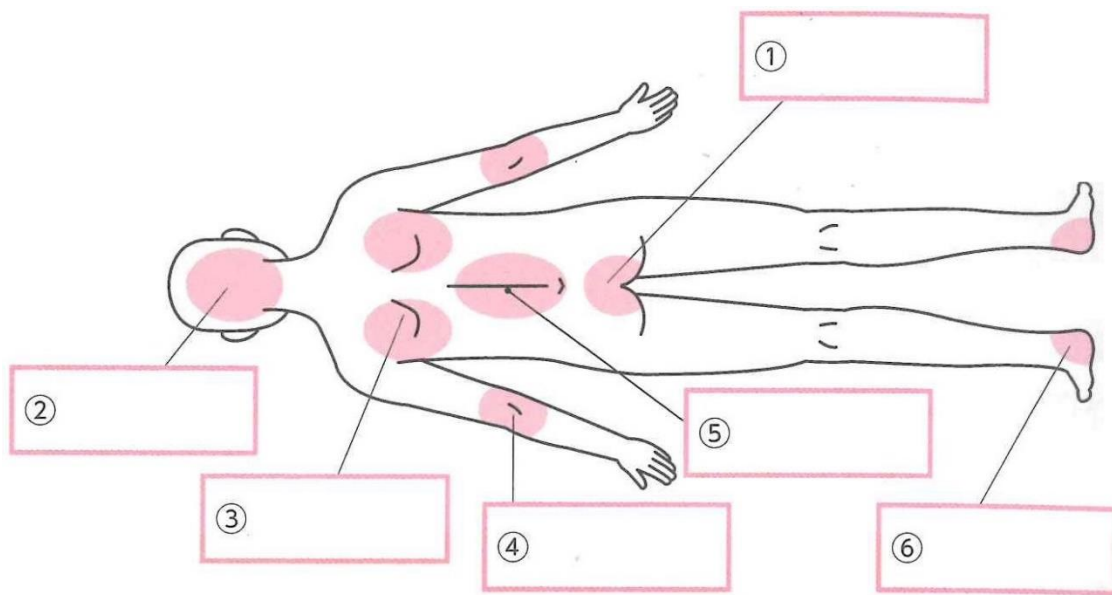
--

(4) A 様がどうしてもおもちが食べたいとおっしゃった場合、あなたならどうするか答えなさい。(配点 2)

--



8.褥瘡の好発部位の名称を右記の語群からアルファベットで選び、内に記入しなさい。(配点 1×6)



A 耳介部 ・ B 大転子部 ・ C 肘関節部 ・ D 後頭部
E 仙骨部 ・ F 肩甲骨部 ・ G 尾骨部 ・ H 坐骨部
I 脊柱部 ・ J 肩関節部 ・ K 胸腹部 ・ L 踵骨部
M 膝関節外側部 ・ N 足関節外果部

9.ケアカンファレンスについて、適切なものを2つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

- ①検討する内容は、インフォーマルなサポートに限定する。
②介護福祉職の行った介護に対する批判を中心に進める。
③利用者本人の参加を促し、利用者の意向をケア方針に反映させる。
④意見が分かれたときには、多数決で決定する。
⑤関係者が集まり利用者やサービスに関する情報を共有する場であるとともに、問題を解決する場である。

----------------------	----------------------

10.高齢者虐待について、下記の問いに答えなさい。

【問題】 あなたはデイサービスのスタッフです。ある日 C 様を迎えに行った際、C 様に対して大声で罵声を浴びせる息子様の声が聞こえてきました。チャイムを鳴らすと静かになり、C 様がいつも通りのご様子で出てこられたため、デイサービスへお連れしました。
デイサービス到着後、あなたが C 様に、「息子さんから酷いことを言われていたけれど、大丈夫ですか？何かお手伝いできることはありますか？」と伺うと、C 様は少しためらった後、「最近息子がイライラしていてすぐ怒鳴るし、物を投げつけられることもあって怖い」と話してくださいました。虐待を見つけたら通報する義務があることを C 様に説明すると、「そんなことをしたら息子が警察に捕まってしまうからやめてほしい」と通報を拒否しました。

(1) このあと、あなたは何と答えますか。(配点 2)

(2) 介護スタッフは在宅で起こる高齢者虐待を発見する可能性が高い立場です。しかし高齢者本人は家族の事を心配し、自ら訴えてくれない場合が多いため高齢者が発する小さなサインを見逃さない事が大切です。虐待を疑わせるサインを答えなさい。(配点 2)

例：入浴時に発見した身体のアザや褥瘡の悪化

(3) 高齢者虐待には、自宅での養護者による虐待以外に、施設従事者からの虐待もあります。施設従事者からの虐待でもっとも多いものを下記の語群の中から記号で選び、その特徴を答えなさい。(配点 2)

記号	特 徴

①身体的虐待 ②心理的虐待 ③経済的虐待 ④性的虐待 ⑤ネグレクト



11. 認知症について、以下の問いに答えなさい。

【事例】

N 様（男性、要介護 2）

糖尿病、高血圧症の治療中。過去に軽い脳梗塞を発症したが、麻痺は残っていない。

運動機能は保たれているが、服の着方やトイレの仕方、道具の使い方が分からない。

（1）N 様のような症状を何と言うか答えなさい。（配点 1）

（2）事例のような症状の方には、どのような対応をすればよいか答えなさい。（配点 2）

（3）N 様には何らかの認知症が疑われるが、既往歴や症状から、どの種類の認知症が考えられるか答えなさい。（配点 1）

（4）N 様のように「以前できていたことができない」「できることとできないこと的能力差を自覚している」方は、自分に対する歯がゆさから、様々な感情をコントロールすることが難しくなり、怒りや悲しみなどの感情が通常よりも激しく表れやすくなります。このような症状を何というか、またこのような症状が出現した方への適切な対応方法を答えなさい。（配点 1+2）

症状名	
適切な対応方法	